

## おじいちゃんたちと田植え

竜野保育園の園児が祖父母らと体験交流

7月2日(水)、竜野保育園(吉本征一郎園長88人)の園児とその祖父母らが田植え体験をしました。

この体験は同園が毎年行うもので、園児と祖父母らが田植えを通して交流することや田植えで自然と触れ合うことを目的として実施。園児13人が苗を植える目印のロープに合わせて並び、おじいちゃんやおばあちゃんに苗の植え方を楽しく教わりました。

園児たちは「初めての田植えは楽しかった。またやりたい」と笑顔でした。



▲泥にだらけで田植えを楽しむ竜野保育園の園児たち



▲感謝の会で隊員にお礼を伝える乙女小児童

## いつも見守りありがとう

乙女地区防犯パトロール隊とふれあい給食

7月9日(水)乙女小学校(岡本秀夫校長113人)で、同小児童と乙女地区防犯パトロール隊(山口和俊隊長)との「ふれあい給食会」が実施されました。同隊は、地域の子どものための安全確保のため、乙女地区社会福祉協議会などの地域住民が主体となって防犯や交通安全の取り組みを推進。活動の一環として、同小児童の登下校時の見守りを行っています。同給食会は、同隊を招待して児童と隊員たちが交流。その後の「感謝の会」では、隊員たちにメッセージカードと記念品を手渡し、「いつも見守りありがとうございます」と伝えました。

## 寸劇で学ぶ「デートDV」

甲佐中で人権擁護委員が人権教室を開催



▲身近に潜む「デートDV」を知ってもらうために、DVについての意識を啓発する寸劇を披露する熊本県人権擁護委員会上益城部会の委員

7月17日(木)甲佐中学校(加藤敬之校長257人)で、熊本県人権擁護委員協議会上益城部会(井口誠一会長)が「人権教室『デートDV』について」を開催しました。

同教室は、同委員が寸劇などを用いて、親しい男女間で起こる暴力「ドメスティック・バイオレンス(DV)」について学んでもらうことを目的に開催。「DV」が年代を問わず発生していることや、スマートフォンによる出会い系サイトでのなりすましなどの事案に対する注意を啓発するために郡内の中学校で実施し、今回で8校目。結婚していない交際中の男女間で起こる暴力である「デートDV」について紹介しました。

寸劇では、同委員が、中学生の孫を持つおばあちゃんたちが孫の交際について心配する様子を熱演。交際中の男女間での思いがけない一言や態度が「デートDV」につながることを説明し、「お互いが相手を尊重する気持ちと自分を大切にする気持ちを大切にして、『嫌なことは嫌』と言えるすてきな関係を築こう」と訴えました。